

# 海洋理工学会 平成15年度秋季大会

プログラム :

## 10月16日(木)

10:20-11:00 平成14年度論文賞記念講演 西村清和(産総研) 鈴木重教(鶴見精機) 徳岡隆夫(徳岡汽水環境研)  
汽水域の動態観測システムの開発

11:00-11:10 第1回堀田記念奨励賞授賞式

11:10-11:50 第1回堀田記念奨励賞記念講演 光永 靖(近畿大)  
バイオテレメトリーによるマダイの行動・生理情報解析

13:20-17:30 シンポジウム

### 「水圏生物バイオテレメトリーの最前線—見えないものを観る—」

(13:20-13:30) 趣旨説明 荒井修亮(京都大学大学院)

(13:30-14:00) **氷の下のアザラシ親子のスキンシップ**  
三谷曜子(国立極地研究所研究員)

(14:00-14:30) **サケの母川回帰を解明するバイオテレメトリー**  
上田宏(北海道大学大学院教授)

(14:30-15:00) **メコン川の怪魚オオナマズの生態に迫る**  
三田村啓理(京都大学学振特別研究員)

休憩

(15:15-15:45) **マグロの大回遊の謎に挑むポップアップタグ**  
山田陽巳(遠洋水研究室長)

(15:45-16:15) **ジュゴンの位置を声で確認する—水中音響工学の可能性—**  
新家富雄(システムインテック主任研究員)

(16:15-16:45) **水圏生物バイオテレメトリーを支える工学と新たな挑戦**  
内藤靖彦(国立極地研究所教授)

(16:45-17:30) **総合討論**

17:30-19:00 懇親会

## 10月17日(金) 一般講演

10:10-11:50 セッション1 座長 飯高 弘

A1 海底ケーブルで検出された電界変動—相模湾初島沖深海底総合観測ステーションによる計測

○岩瀬良一、後藤忠徳(JAMSTEC) 藤縄幸雄(リアルタイム地震情報利用協議会)  
松本拓己(防災科研) 高橋耕三(元通総研)

A2 伊豆大島—伊東間海底ケーブルによる電界変動観測

—2000年三宅島火山噴火活動関連の異常変動—

○矢崎 忍(防災科研) 藤縄幸雄(リアルタイム地震情報利用協議会)  
青柳 勝(元日本電気海洋) 高橋耕三(元通総研) 松本拓己(防災科研)

飯高 弘・中野 洋(産総研) 佐々木清志(日本電気) 資宗克行(東日本電信電話)

A3 電界センサを用いたリモート操作地下水流動モニタリングシステム

○荻野将義、齊藤幸賢(ドコモセンツウ) 宮川崇雅、渋谷義一、野末鉄有(芝浦工大)

矢崎 忍(防災科研) 谷川正志(応用地質) 飯高 弘、中野 洋、藤縄幸雄(産総研)

A4 電界センサを用いた地滑りモニタリング

○宮川崇雅、渋谷義一、野末鉄有(芝浦工大) 荻野将義、齊藤幸賢(ドコモセンツウ)

矢崎 忍(防災科研) 谷川正志(応用地質) 飯高 弘、中野 洋、藤縄幸雄(産総研)

A5 TRITON 海洋観測ブイシステムにおける Vandalism 対策

○角田晋也、山口誠之、伊藤淳雄、石原靖久、米澤明美、田代省三(JAMSTEC)

13:20-14:40 セッション2 座長 月岡 哲

A6 10,000m級無人探査機「かいこう」ピークル漂流事故の捜索について

○田代省三、渡邊正之、門馬大和(JAMSTEC)

A7 10,000m級無人探査機「かいこう」ピークル漂流事故の原因究明

○渡邊正之、田代省三、門馬大和(JAMSTEC)

A8 DMSP/OLS 夜間可視画像を用いたイカ釣り漁業のモニタリング

○原 政直、岡田修平、市塚正彦、重原好次((株)ビジョンテック)

森山 隆(宇宙開発事業団) 杉森康宏(千葉大)

A9 海水中の全炭酸測定精度向上

来田幹生、○鎌田稔、柴田冬樹、大濱妙子、茂呂正樹、藤木徹

((株)マリン・ワーク・ジャパン) 村田昌彦(JAMSTEC)

15:00-16:40 セッション3 座長 中田喜三郎

- A10 流向流速計のデータ解析と海底エクマン層の厚さ推定  
○酒井 亨、中田喜三郎（東海大海洋）
- A11 バラスト水からのプランクトン除去 ―高速濾過装置の適用可能性―  
○鋤崎俊二（日本海洋生物研）油谷正彰（商船三井）高橋裕一（富士フィルター工業）
- A12 宍道湖・中海における植物プランクトン優占群落の季節変動と遷移の解析  
○飯野哲治、中田喜三郎（東海大海洋）
- A13 生態系ネットワークと底生系鉛直微細構造に着目した新しい内湾複合生態系酸素循環モデル  
開発の試み―貧酸素化メカニズム解明に向けて、その方法と手順―  
○相馬明郎（富士総研）桑江朝比呂（港空研）左山幹雄（産総研）
- A14 生態系ネットワークと底生系鉛直微細構造に着目した新しい内湾複合生態系酸素循環モデル  
の開発―流動モデル・湾央域底生生態系モデルの開発・改良と東京湾への適用―  
○相馬明郎、関口泰之（富士総研）